

# 小金井市都市計画マスタープラン

## 第3回 市民協議会の結果・まとめ



安全・安心



生活環境1



生活環境2

### <次第>

1. 開会挨拶
2. 第1回市民協議会の開催結果と  
本日のテーマ（情報提供）
3. グループワーク（意見交換）  
（1）「将来の小金井市（まち）に求める視点」  
について具体的に考える  
（2）結果の発表（共有）
4. 閉会

日時：令和2年9月26日（土） 午後2時から

場所：小金井市商工会館 3階  
市民会館 萌え木ホール

## ●開催概要

- 第3回市民協議会では、各グループ2分野について意見交換を行いました。

### Aグループ

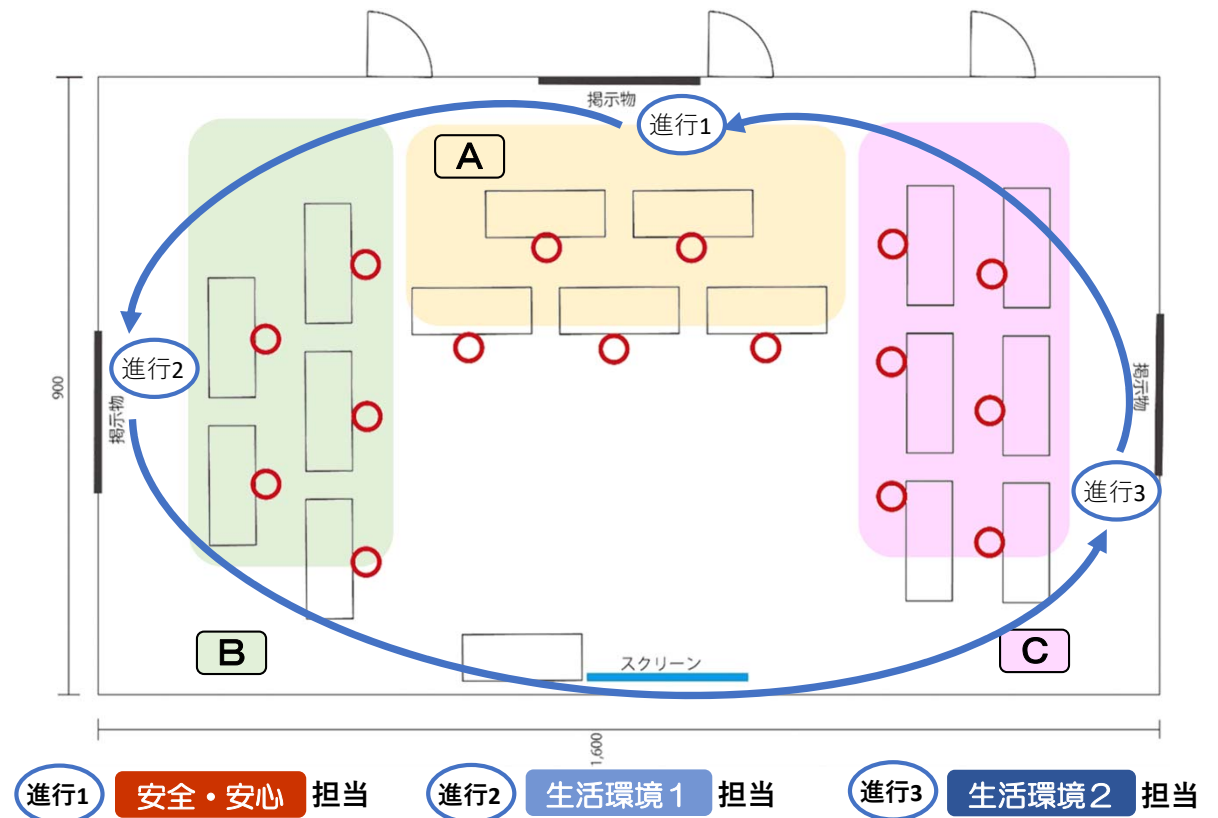
1分野目	安全・安心
2分野目	生活環境1
3分野目	生活環境2

### Bグループ

1分野目	生活環境2
2分野目	安全・安心
3分野目	生活環境1

### Cグループ

1分野目	生活環境1
2分野目	生活環境2
3分野目	安全・安心



安全・安心

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等
<p>地域の防災まちづくりを進めるために必要なことは？</p>	<div data-bbox="197 239 627 383"> <p><b>■自助意識の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自助」の啓蒙</li> <li>・災害時の自助行動に関わるセミナーや手法も検討</li> <li>・自助ができないと、共助も公助もできない</li> </ul> </div> <div data-bbox="197 391 627 614"> <p><b>■地域の防災まちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の普及</li> <li>・災害の種別による防災訓練はできているか</li> <li>・防災の取組みの共有が必要</li> <li>・担い手がない</li> <li>・地域と医療機関とのネットワーク</li> <li>・町内会の機能の向上、都の補助金で安全な衛生用品を買って備える</li> </ul> </div> <div data-bbox="197 630 627 821"> <p><b>■みどりを活かした防災まちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの保全と防災まちづくりの連携（避難場所、貯水場所、備蓄場所等に関して）</li> <li>・井戸・湧き水の保全</li> <li>・何かの時に湧水が大事になる</li> <li>・給水場所の周知や公園への給水トイレ整備（事例：府中市）</li> </ul> </div> <div data-bbox="638 239 1131 438"> <p><b>■事前復興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災事前対策（効果を見極めて）として、国や都が連携して事前復興計画を検討すべき。（ボランティア受入、被災予想、企業・大学連携等）</li> <li>・事前復興を充実して公表すべき</li> <li>・実際に災害に遭った時にどうしたらいいかシュミレーションできていない</li> </ul> </div> <div data-bbox="638 454 1131 614"> <p><b>■円滑な防災・災害情報の発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの周知</li> <li>・情報伝達システムの整備が必要（デジタル技術を活用したサイレンやスピーカー等）</li> <li>・避難に差がでないような情報伝達、格差是正</li> </ul> </div> <div data-bbox="638 630 1131 805"> <p><b>■災害対策の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災・地震等の「複合災害」への対応策を講ずべき。そのため、国や都を含む協議会等において、費用対効果等を含めて、意見を聞くべき</li> <li>・災害ゴミの処理方法が問題</li> <li>・駅周辺の帰宅難民対策</li> </ul> </div> <div data-bbox="1153 239 1601 614"> <p><b>■災害に強い基盤整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（特に斜面）の計画的な管理を</li> <li>・水害対策の見直し、水路多い</li> <li>・府中市では各町内に体育館と公園が必ずついています。モデルになり得ます。</li> <li>・廃墟で隠れている水路が多い</li> <li>・防災行政無線の整備を</li> <li>・大きな道路でコミュニティを分断しない</li> <li>・道路新設で地域コミュニティをこわさないことが大切。立ち退きさせられる人のことを考えてほしい</li> <li>・公園等のオープンスペースの確保により延焼を防ぐ</li> </ul> </div> <div data-bbox="1153 630 1601 758"> <p><b>■コロナ禍に対応した防災</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、町内の診療所等は経営難を訴えている。医療体制の充実が必要</li> <li>・コロナ禍での避難所体制の検討・構築</li> </ul> </div> <div data-bbox="1612 239 2105 486"> <p><b>■建物の耐震化、空き家対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧耐震建物の改修・建替促進</li> <li>・木造住宅密集地域における道路拡幅、公園整備等</li> <li>・空き家対策のための補助金、相談体制の構築</li> <li>・公園等のオープンスペースの確保により延焼を防ぐ</li> <li>・空き家所有者と事業者とのマッチングが必要</li> <li>・廃墟となっている都営住宅（①）の解体</li> </ul> </div> <div data-bbox="1612 494 2105 694"> <p><b>■避難場所の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等の公共施設をもっと活かす</li> <li>・避難所のプライベート空間確保、間仕切り導入</li> <li>・AEDの設置（屋外）</li> <li>・福祉避難所の認知、行ったら迷惑がかかると思われないようにしていく必要がある</li> <li>・避難場所を事前に把握しておくことが重要</li> </ul> </div> <div data-bbox="1612 710 2105 774"> <p><b>■避難経路の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック塀の安全化</li> </ul> </div>
<p>地域の防犯まちづくりを進めるために必要なことは？</p>	<div data-bbox="197 861 1131 1157"> <p><b>■地域コミュニティの強化による防犯に強いまち</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会組織の再生（高齢化で機能不全）</li> <li>・地域コミュニティの形成、顔の見える関係づくり</li> <li>・日頃からの近所付き合い、地域のネットワークづくり</li> <li>・引越してきた人、子育て中の若い人、これから長く住んでくれる人が地域コミュニティに入りやすい環境づくり</li> <li>・顔の見える地域づくり</li> <li>・「サギ電話」対策について、市・町内会に有効な役割を期待</li> <li>・男性が隣近所に無関心、隣近所に関心を持つことが大事</li> <li>・めんどうがらずに声掛けをする</li> <li>・地域コミュニティづくり、ネイバーズデイ、おとなりサンデー（渋谷区）</li> </ul> </div> <div data-bbox="1142 853 1803 973"> <p><b>■子供たちの見守り活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達の見守り活動（通学路、放課後等）</li> <li>・信頼される学校づくり</li> <li>・学校をハブにした不審者情報の積極的な共有</li> </ul> </div> <div data-bbox="1142 981 1803 1045"> <p><b>■空き家・空き地対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家、空き地の対策・解消（防犯）</li> </ul> </div> <div data-bbox="1142 1053 1803 1220"> <p><b>■防犯システムの強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯システムの整備（スマートシティ、防犯カメラ運動）</li> <li>・道路上への防犯カメラの設置</li> <li>・本当に効果的な防犯対策</li> <li>・犯罪の抑止</li> <li>・防犯カメラを増やして犯罪が減るのか疑問</li> </ul> </div>
<p>その他</p>	<div data-bbox="197 1252 750 1316"> <p><b>■マスタープランへの反映・情報共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランの公表、市報等中間報告</li> </ul> </div> <div data-bbox="197 1332 750 1444"> <p><b>■地域の取組みを推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にネットワークをつくる</li> <li>・カンガルーポケットの普及</li> <li>・自主防災組織を有効に</li> </ul> </div> <div data-bbox="197 1460 750 1564"> <p><b>■歩いて暮らせるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて避難できる環境</li> <li>・「歩いて暮らせるまちづくり」の視点が大事</li> <li>・歩行者優先ゾーンの整備（車は進入禁止）</li> </ul> </div> <div data-bbox="772 1252 1265 1316"> <p><b>■女性の視点で考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の視点が少ない、市民の約半分は女性</li> </ul> </div> <div data-bbox="772 1332 1265 1444"> <p><b>■高齢者の方の見守り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年配の方に声かけ、熱中症の方や病気の方等</li> <li>・高齢者世帯の居住実態の把握・支援</li> <li>・要介護者の把握（80歳以上の方）</li> </ul> </div> <div data-bbox="1288 1252 2105 1444"> <p><b>■公共機関との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察・消防署との連携</li> <li>・消防団の組織</li> <li>・前原町にある独身寮の警察官は、まつり等に参加してくれている</li> <li>・地域の諸団体や市民の連携（学校、保育園、学童、消防団、町内会、地域包括ケアセンター、公民館、民生委員等）</li> <li>・自治会、町内会との連携</li> </ul> </div>

安全・安心

■建物の耐震化、空き家対策  
・廃墟となっている都営住宅 (①) の解体



凡例  
○ 分野別のテーマに対する意見箇所

生活環境 1

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等		
地域コミュニティの維持・創出や交流の場をつくるためには？	<b>■地域拠点となり得る施設の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>多機能型の市民センターの設置（老若男女）</li> <li>図書館等、小さい施設でなく大きい複合施設</li> <li>若者も集まる集会施設</li> <li>市街地再開発による公開空地等を活用したラジオ体操、ヨガ、大学公開講座の開催</li> </ul>	<b>■既存施設（＝小金井らしさ）の有効活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の充実</li> <li>今あるものを上手く活用</li> <li>新しい施設をつくるのは難しい</li> <li>大学の活用、セミナーの実施</li> <li>中央大学附属中学校・高等学校（①）を能の場として活用している</li> <li>商店会のイベント開催のため、学校等の校庭を開放する</li> <li>大学施設の利活用（食堂、図書館、グラウンド、体育館）（東京芸芸大学（②）、東京農工大学（③）、法政大学（④）等）</li> <li>駅前の交流センターがいろいろと使いにくい</li> <li>大学と連携したスポーツ教室、自由研究</li> <li>文教都市を活かし、勉強場所、遊びの場、スポーツする場を確保</li> <li>小金井市町内会のPRしてほしい</li> </ul>	<b>■気軽に集える場づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>神社やお寺の協力もあると良い</li> <li>商店街を拠点とした交流の向上</li> <li>屋内でお金がかからずのんびりできる場所がふえると良いと思う</li> <li>地域商店街の活性化、再生</li> <li>子ども食堂等による世代間交流の場づくり</li> <li>世代間交流の場をつくるためには、遊べる場所をつくる</li> <li>集える場、地域包括ケアセンター、空き家活用</li> <li>集会施設を公民館と同様に借りやすくする</li> <li>スポーツできる場所の提供（ジョギング、サイクリングコース、バスケットボール（3on3））</li> </ul>
	<b>■空き家活用と地域拠点の創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家活用したカフェ、シェアオフィス、リモートワーク等の創出</li> <li>空き家をコミュニティの場へ。事業者と空き家所有者とをマッチングする仕組みづくり</li> <li>民家を使ったカフェ、寄りあい場所</li> </ul>	<b>■町内会の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会再生のため、IT環境強化、若い人も参加しやすい町内会</li> <li>機能していない町内会へのサポートが必要</li> <li>メールでの情報交換 掲示板（市で仕掛けづくり）</li> <li>町内の交流の活発化、防災倉庫の充実、災害や子どもの集まりの場の創出</li> </ul>	<b>■子供会育成連合会への支援と連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会、子供会等のコミュニティを支える組織のスタッフが減り続けている</li> <li>子供会を教育委員会の組織として予算をしっかりとつける</li> <li>学校の授業と子供会の体験活動で連携し、子供会以外の子も授業を通じて興味を持つ</li> <li>祭りや行事に参加することで地域の人や歴史を知る</li> </ul>
	<b>■地域単位のまちづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩いて暮らせるまちづくりの実現に向け、地域（中学校区）ごとのプランニングが必要</li> </ul>	<b>■拠点施設・機能の広域連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接市と連携した協体制の構築（例：図書館）</li> </ul>	
	<b>■リサイクル事業所の設置</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル事業所はやっぱほしい</li> <li>リサイクル事業所を市の東西南北に作りシルバーが運営して市民交流スペースを併設する（公民館&amp;リサイクルが併設でも良い）</li> </ul>		
貴重な空間である都市農地をどのように維持・活用していくか？	<b>■教育活動の場としての活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地解放（例：園児のイモ掘り体験）</li> <li>地元の農家では小学生のイモ掘りに協力している。市内の小学校等の授業として、農業にふれあう機会をもっと増やして欲しい</li> </ul>	<b>■都市農地（土地）を守る仕組みづくり・農業を営む人づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>相続で手放す土地を市民農園に転用しやすくする</li> <li>新しい道路を整備するために失われる農地があるので止めてほしい（⑤）</li> <li>都市農地を保全するため、市が農家と契約して農園を開き、維持管理を永くできるようにする</li> <li>農地の保全 都市が個人農家の自然を管理しているのを拡大していく</li> <li>JA等と連携して、後継者育成の仕組みをつくる</li> <li>都市農地のビジネス化、運営企業の育成・支援、販路整備</li> <li>農地所有者への支援、後継者問題等の相続相談の支援</li> <li>生産緑地の維持・管理に関して、農業委員会が生産緑地の維持管理に向けた組織づくりを進める。選定、営農を充実させる事で近隣トラブルや魅力のアップにもつながる</li> <li>農業知識の提供、栽培講座、マイスター紹介・育成</li> </ul>	
	<b>■高齢者の活動の場としての活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>老人用農園を公園以上につくるべき（事例：ドイツ・フランクフルト）</li> <li>シルバー人材センターとの連携を図り、農地貸出、運営委託等を検討してほしい</li> </ul>	<b>■都市農地の環境対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地周辺環境対策（土ほり等）に掛かる費用の支援制度創設、国や都と連携した取り組みの推進</li> </ul>	
	<b>■農業と観光の連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>JA観光協会商工会の連携ができていない。小金井の名物をPRしてほしい</li> </ul>	<b>■農産物による地域活性化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消（給食、スーパーマーケット）作物を通した世代間交流</li> </ul>	
その他	<b>■農地以外の緑も大切に</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地以外の緑も考えよう</li> <li>屋敷林や原っぱの維持</li> <li>駅前のロータリーの広場を花壇化して、維持管理のための組織を募集するのはどうか</li> </ul>	<b>■環境対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ、脱炭素へ。エネルギーの地産地消</li> <li>3Rの推進</li> </ul>	<b>■その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康指導の協力をぜひ</li> <li>コンサルタントからの提案がほしい（行政への）</li> <li>一人になりたい人の気持ちも尊重して</li> <li>道路新設で町を分断しないでほしい</li> </ul>
	<b>■地域コミュニティに関する課題として</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>所得をあげる働く場所づくりを考えたい</li> <li>例えば高架下利活用で夜間学習、図書館、趣味起こしを図る</li> <li>園庭のない保育園が多い</li> </ul>	<b>■区画整理手法の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園、緑道を整備できる「面整備事業」を担う組合とつくる</li> <li>そのための助成金（保留地処分金）制度をつくるべきである</li> </ul>	

生活環境 1

■既存施設(=小金井らしさ)の有効活用  
 ・中央大学附属中学校・高等学校(①)を能の場として活用している  
 ・大学施設の利活用(食堂、図書館、グラウンド、体育館)(東京学芸大学(②)、東京農工大学(③)、法政大学(④)等)

■都市農地(土地)を守る仕組みづくり・農業を営む人づくり  
 ・新しい道路を整備するために失われる農地があるので止めてほしい(⑤)



凡例  
 ○ 分野別のテーマに対する意見箇所

生活環境2

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等		
暮らしたい・暮らし続けたいと思えるまちに必要なことは？	<p><b>■暮らしの質の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のQOLを高める、安全・安心、みどりの分野から</li> <li>裏通りをゆったりと歩ける街（スペース面及び時間的にも）</li> <li>街中みどりの景観整備</li> </ul>	<p><b>■スマートシティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートシティ化。幅広い層に対応、操作しやすい、便利、安心</li> <li>スマートシティ化の取り組み</li> </ul>	<p><b>■現状を維持することが大切</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状維持、継続と少しの発展、住環境、子育て環境</li> </ul>
	<p><b>■働きやすいまち</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職住近接した環境づくりとして、駅周辺では、オフィス誘致、サテライトオフィス誘致、シェアオフィス誘致、Wi-Fi整備（DX対応）等が考えられる</li> <li>市内全域にWi-Fi環境を整備したい</li> </ul>	<p><b>■きれいでマナーの良いまち</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街中の美化（ポイ捨て、路上喫煙、禁止）</li> </ul>	<p><b>■小金井の良いところ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都心へのアクセスが便利</li> <li>地域ごとの魅力づくり</li> <li>街と田舎の共存共生</li> <li>心穏やかに過ごせる</li> <li>都市計画道路で立ち退きを迫ったり、地域コミュニティを壊さないで</li> </ul>
		<p><b>■まちの魅力を向上させる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性を受け入れる</li> <li>「道の駅」のような施設を地区単位に設ける。広域的な拠点としても運用する（例：八王子市、世田谷区、群馬県）</li> </ul>	<p><b>■小金井らしさ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スローライフ、ゆるやかなんびりゆっくり</li> <li>ゆっくり過ごせるように</li> <li>のんびり暮らせること</li> <li>人や建物が集中しすぎない</li> </ul>
若年・子育て世代・高齢者や障がいのある人が住み続けられるようにするためには？	<p><b>■学習・施設の開放</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校等の空き教室を活用して高齢者が集う場を創出</li> <li>教育施設を活用した生涯学習等</li> <li>地域の拠点としての学校の活用</li> </ul>	<p><b>■行政のサポート・子育て支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て相談等の困りごとに対する相談体制の強化</li> <li>地域文庫をやっているが特に市からの助成がない。ボランティアで頑張っている人々をもっとサポートしてほしい</li> <li>ひとり親家庭や困っている人のサービスの拡充により、更に住みやすいまちへ</li> <li>家族間トラブル等で家にいられない人がかけこめる場づくり（女性等）</li> <li>暮らしをよくする方式として「面整備」が「組合」によってなされるよう、助成すべき</li> </ul>	
	<p><b>■高齢者・福祉施設の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老人ホームの増設</li> <li>障がい、高齢者施設の小規模化 地域とのつながり</li> <li>老人ホームの中に地域に開かれた場所が欲しい（カフェ、食堂、集会室等）</li> <li>現在整備を進めている保育施設を将来的に老人ホーム等の高齢者施設にリノベーションする等、需要に応じた柔軟な施設整備が必要</li> <li>老人ホーム待ちしてる</li> <li>高齢者施設だけでなく、保育施設を併設する等、複合的な機能を持った施設が必要（例：NPO法人地域の寄り合い所また明日①）</li> <li>高齢者・福祉施設のサービス向上（例：府中市、国分寺市）</li> <li>現在、老後は住みにくい、老人施設が良くない</li> <li>施設の数が多いが、施設スタッフの関心が低い</li> </ul>	<p><b>■交流が大切、あたたかみコミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナで子供との交流が増えた</li> <li>高齢者と若者世代の3世代で一緒に庭でバーベキューをした。お互いに助け合うことが大事</li> <li>自治会、町内会の参加を増やしたい（会費を払わないのに真っ先に来る人）</li> <li>交流しやすい町、生まれ育った町だから友人も多い</li> <li>小学校の頃、近所の方が小学校の近くで子供達に「おはよう」、「さよなら」と声掛けをしてくれた。住民の日常的な声掛けから始まるまちづくり（多世代交流、地域コミュニティ形成、防犯・見守り活動等）</li> <li>高齢化への対応、地域で住み続けられるまち</li> </ul>	<p><b>■バリアフリーなまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー・ユニバーサルデザインの実現に向け、新築建物のバリアフリーの義務化、改修時の補助金、IOTの活用等</li> <li>IOT技術を活用した外国語対応の案内等</li> <li>肉体的なハンディキャップがある方が自然に集える公園の整備</li> <li>心のバリアフリーの推進</li> <li>障がい者対策の実態を明らかにした上で、バリアフリーな施設をつくるべき</li> <li>ユニバーサルデザインのまちづくり（ハード・ソフト両面）</li> <li>学校等の教育施設の段差解消（バリアフリー化）</li> </ul>
その他（新しい生活様式）	<p><b>■リモートワークの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン会議セミナーの効率利用、環境整備</li> <li>12月空き家対策相談会をやる（市と一緒に）</li> <li>審議会やワークショップ等もITをうまく活用し、広く市民に情報発信</li> <li>デジタルも必要だがアナログも重要</li> <li>市民参加の機会もリモート環境推進</li> <li>公共施設でWi-Fiが使えない</li> </ul>	<p><b>■行政へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市が自ら考える、アウトソーシングしない</li> <li>市役所サービスの向上、アクセスの向上</li> <li>市の財政の健全化（市税の低減）</li> <li>市長は「対話」を大切にと言っているが、市長も行政も本当の意味で市民と対話すればもっと良い街になると思う</li> <li>インターネット環境を（市HP）高齢者向けに工夫</li> <li>行政職員の自主性、自発性の向上が必要</li> <li>市民協議会ので出た意見の都市計画マスタープランへの反映方法を知りたい</li> <li>都市計画税の増税</li> </ul>	<p><b>■市民でつくるまち</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政任せではまちづくりはできない。市民（私たち）のかかわりが大事</li> </ul>
			<p><b>■安全安心</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>狭あい道路の拡幅／解消</li> </ul>
			<p><b>■土地利用・交通環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CoCoバスルートの拡充</li> <li>駅周辺の駐輪場整備</li> </ul>

生活環境②

■高齢者・福祉施設の充実  
・高齢者施設だけでなく、保育施設を併設する等、複合的な機能を持った施設が必要（例：NPO法人地域の寄り合い所また明日 ①）

